

クロモジで元気な地域づくり

取組に至る背景・事業の目的

長野県の最北端に位置し、日本の秘境 100 選に選ばれる栄村秋山郷は、深山の峡谷が四季折々の表情を見せ、秋は紅葉の名所、冬は日本でも有数の豪雪地帯として知られ、毎年多くの観光客が訪れている。

一方で、同地域の人口は約 190 人だが、年 10 人の割合で減少し高齢化率も 60% を超え、少子高齢化が著しく、生産年齢人口の減少に歯止めをかけることが課題となっている。

そこで、地域に自生する「クロモジ」を活用して地域特産品を開発・販売し、地域内の雇用創出を図るとともに、宿泊体験ツアーを実施して観光振興を図り、地域の魅力発信や観光業への波及効果を目指す。

事業内容

- ① 特産品の開発（芳香蒸留水、精油の商品化）
 - ・ 6～7月： 精油発生装置の製作
 - ・ 7～11月： 専門家を招き試験蒸留、本蒸留の実施（5回）
 - ・ 9月以降： 地域内の日帰り温泉施設で先行販売開始
その後、改良した商品を地域内の企業に卸し、道の駅や観光協会施設、ウインターシーズンは、さかえ倶楽部スキー場で販売
- ② クロモジアロマ作り体験ツアーの開催
 - ・ 8月 地域内の宿泊業者のインターン学生15人を招き、クロモジのアロマ作り体験のモニターツアーを開催し、アンケート調査を実施
 - ・ 2回目は、新型コロナの感染拡大により中止



【作業の様子】



【商品化した芳香蒸留水と精油】

事業効果

- 芳香蒸留水や精油を商品化し、村内小売店等で流通、地域内の企業に卸売することで、新たな特産品として、地域内の経済の活性化につながった。
さらに商品が、栄村ふるさと納税返礼品に指定され、広く注目を集めたことで、令和4年1月末時点で、蒸留水 225 本、精油 32 本を売り上げた。
- 倶楽部の特産販売収入及び賃金は前年から倍増し、雇用環境の改善につながり、雇用拡大に向けた基盤づくりが進んだ。
- 集落、地域の枠を越えた参加があり、地域コミュニティの結束が強くなるとともに、クロモジの菓子楊枝などの木工品製作に独自に取り組む住民も現れ、住民の意欲向上に寄与した。
- ツアーのアンケートでは、「また地域を訪れたい」（14人）、「ツアーは良かった」（13人）など、秋山郷や体験ツアーに好意的な印象を抱いてもらった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

蒸留に関する知識がなく、蒸留器への投入量や蒸留時間等で苦労したが、県林業総合センターやアロマ専門家からアドバイスを受け安定生産につなげることができた。

さらに、蒸留器を改良し、自動で蒸留水が採取できるようしたことで、作業の簡略化につながった。

クロモジの芳香蒸留水や精油は、まだ全国的には認知度が低いため、SNS等の活用や、コラボイベント等によるPR活動にも注力し、製造数を増やすとともに、周辺地域の取り扱い店舗数を増やすことで、雇用機会の確保と通年雇用の拡大を目指す。

【選定のポイント】

地域に自生する「クロモジ」に着目し、住民が開発・販売する商品が、ふるさと納税返礼品に指定されるなど、広く注目を集めた。

さらに、事業収入及び倶楽部員の賃金が倍増し、雇用拡大に向けた歩みを進めている。

今後は、体験ツアーの開催による観光業等への波及効果が期待されている。

団体名	小赤沢活性化倶楽部	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	025-767-2202（栄村役場秋山郷支所内）	事業費	536,346円
ホームページ	https://akiyamaaroma.stores.jp/	支援金額	319,000円
メールアドレス	akiyama-s@vill.sakae.nagano.jp		